

## 西野國陽

（令和三年十一月号）

「防護服に二重のマスク、手袋」と勤務を退きし娘が告ぐる  
防護服着けて待ちある救急車 看護師たちは暑さに耐へて  
病院にコロナ患者のおほき日か疲れし娘の黙して帰る

帰宅して娘がわれを点検す マスク、外出、緩む気持ちを  
感染を恐れて娘は孤食する夕餉たのしむ団欒のとき

〈医療者へ感謝の花火〉も良いけれど給与アップが娘の願ひ  
〈医療者へライトアップ〉それよりも安眠させてと娘は笑ふ  
ICUの夜勤の明けて寝入りたる娘起こせず日は沈みても



### ●作者の言葉

感染力の強いデルタ株の出  
現した昨年夏の第5波。もと  
もと「3K」の医療現場は、盆  
も正月もなく、月八回の夜勤

など労働条件も厳しくて、そ  
の割に給与も不十分です。I  
CU九年目になる看護職のコ  
ロナ禍での実情と心情をリア  
ルに描きたいと思いました。

齋藤先生には年間賞に選んで頂き、恐縮  
しつつ家族で喜んでおります。

今年には長崎歌人会の会長に任じられ、コ  
ロナ禍の中で県内歌人の交流、研鑽に努め  
る時、大きな励みになります。歌を詠み、歌  
を読み、歌を語り、健康な限り精進します。

### ●選者の言葉

世界を覆う新型コロナ禍の今、日本の医  
療従事者の現実を伝える、貴重な時事詠で  
ある。作者は、ICU担当の看護師として  
働く娘を通して、コロナ患者に対応する看  
護師達の、厳しく困難な勤務実態を伝えよ  
うとしている。私達はテレビニュースや新  
聞で知るのみであるが、父親の目を通して  
描かれる彼女達の日常は、具体的であるが  
ゆえに切実で、説得力のあるものとなつて  
いる。西野さんの作風は、正確な言葉選び  
による無駄のない、端正な叙述が特長であ  
るが、今回はそれが良い形で発揮されたも  
のと思う。もう一つ読むべき点は、医療に  
携わる人々に対して想像力をもつて、真の  
尊敬と感謝の念を持つことを忘れてはなら  
ないということだろう。